

2021年(令和3年)4月1日から
2022年(令和4年)3月31日まで

**2021年度
(令和3年度)**

事業計画・収支予算書

※本資料はwebサイト掲示用の要約版です。



公益財団法人
ベネッセこども基金

2021年度 事業計画書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

2020年度は、民間財団としての中間支援的な立ち位置であるベネッセこども基金の強みが生きるように、自主事業、助成事業の果たす役割を明確にし、それにそった活動に集中させていく年。

また、活動内容の発信による広報をさらに強化する年。
と計画していた。

新型コロナウイルス感染症に対応しながら、一部計画を修正しながら達成。2025年度に向けた中期計画を検討し、2021年度からの本格的な活動への準備を行った。

2021年度は、中期計画で明確になった、民間財団としての中間支援的な立ち位置であるベネッセこども基金の強みが生きるように、助成事業をより進化させ、新しい自主事業にトライアルする年。

また、活動内容の発信による広報の強化は引き続き行う。

I : 2021年度の重点テーマ

1. 【助成事業】団体サポート方法の最適化

- 団体の事業活動が最大化することを目指して、団体との目標の確認の仕方、期間中のサポート方法、団体同士の交流、広報のあり方などの最適化を行う。
- 上記の活動の中から、助成の申請～採択～終了後報告までが一貫したシステム上で行えるように必要な観点を見出す。（2023年度 C/O を目指す）

2. 【自主事業】経済・成果指標研究会 PJ の実施

- 経済助成団体の共通の課題解決
- 支援者に対して活動の成果をどう発信するのか、何を活動の成果とするか、それをどう計るのかなど、知見ある団体+複数の助成団体で、指標づくりの実践研究を行い、団体のレベルアップにつなげる。

3. 【自主事業】重い病気・ICTを活用した学び PJver.2 の実施

- OriHime を使用した PJ の発展形として、①新しいツールの開発②コーディネーターの存在の検討と、③特にサポートが不足している高校生世代支援に対する解決モデルの先行事例開発と社会認知アップ

Ⅱ：重点テーマの概要

1. 【助成事業】団体サポート方法の最適化

「全体」

- ・助成事業の各工程における業務内容見直しを行う。助成事業実施の各工程で、団体との関係が強化でき、各団体の活動に寄与できる施策の実行。
- ・上記を担当チーム制により実行する。
- ・団体同士の横連携が進む交流活動の実施。

※助成事業テーマ

「経済的困難を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 5,100 万円）

- ・2019 年度、2020 年度より助成を開始した助成団体に、3 年間以内に、実行自立的な継続・発展ができるように伴走していく。
- ・2020 年度、2021 年度助成開始団体の 2022 年度の継続審査、2022 年度助成団体の選考もつつがなく行う。

「重い病気を抱える子どもの学び支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

継続テーマの実行。全体企画に基づき、活動団体とのつながりを強化の良い形を積み上げる。

「被災した子どもの学びや育ちの支援活動」助成（予算枠 1,000 万円）

- 2019 年度より、緊急支援に特化した災害支援助成を継続。
- 年度開始時点での募集要項の公開／サイトで予め発信。
- 災害発生時に、助成の実行を判断し要項に沿って公募。

2. 【自主事業】経済・成果指標研究会 PJ の実施

- ・「助成から見つけた共通課題」の解決というコンセプトに沿った新テーマの実行。
- ・経済的困難を抱える子どもの支援団体の子どもの変化をみる指標や成果のアウトプットについてを、助成団体有志とともに研究。
- ・成果のアウトプットの活動をしている知見ある団体 [NPO 法人 Learning for All] とともに実行する。

※経済の自主事業・学びの質の向上のテーマの [NPO 法人キッズドア] との PJ は、継続する。

3. 【自主事業】重い病気・ICTを活用した学びPJver.2の実施

・2020年度まで活動したPJで、ICTを活用した学びモデルには、大きな可能性が感じられた一方で、プロジェクトを通してみえたさまざまな現状や課題がみえた。その解決を目指す活動。

・①高校生の学習保障②コーディネーター③より汎用的なツールをテーマに、特別支援学校との関係性を活かしつつ、助成団体などとも連携しながら、今後は

3年ほどかけて、3つの課題を解決する汎用的な「学び支援モデル」を目指す。

Ⅲ：その他のテーマ

重点テーマ以外の実行項目について、概要をまとめる。

【安心安全】

「防犯・スマホ」

・現学校向け普及ツールによる普及の最大化→効果の見極め

「紙芝居」

防災紙芝居の園以外へのアプローチ

・図書館への防災紙芝居寄贈・SNSでの発信

「ネットコンテンツの見直しに向けての調査活動」

・一人一台タブレット化による環境変化対応

・低年齢化：未就学児や小学校低学年とその保護者向けの検討

【よりよい社会づくりにつながる学び支援】

広くすべての子どもたちを対象に「“ソーシャルリーダーシップ”を育む学び」の機会を提供。新テーマを探しながら、以下継続テーマを実行する。

※例年実行していた「ちびっこおえかきコンテスト」新型コロナウイルス感染症の影響で休止。

① 高校生英語ディベート大会・国際事業の共同実施

対象：高校生

連携：全国高校生英語ディベート連盟（HEnDA）・国際委員会

【広報】

・前年度の成果は踏襲しつつ、トライアル期と位置づけ、可能性のある広報ツールは広く検討する。

・ターゲットによって、発信方法、ツール、対応をかえ、それぞれの層を増

やしなから上にあげていく。

IV. 会議体スケジュール（予定）

	日時	主な議案
第1回理事会	5月中旬頃 決議の省略（みなし決議）	・2020年度事業報告・決算 ・評議員会の開催
第1回評議員会	6月8日(火) 11:00～11:30	・2020年度事業報告・決算
第2回理事会	6月8日(火) 11:30～12:30	・「重い病気」助成募集要項 ・代表理事活動報告
第3回理事会	11月19日(金) 10:30～12:00	・「重い病気」助成団体承認 ・「経済」助成募集要項 ・代表理事活動報告
第4回理事会	3月16日(水) 10:00～12:00	・2022年度事業計画/予算 ・「経済」助成団体承認 ・代表理事活動報告

VI. 予算

2021年度 公益財団法人ベネッセこども基金					
収支予算計算書(正味財産増減計算書ベース)					
2021年4月1日から2022年3月31日まで					
(単位:千円)					
科目	公益事業会計 子どもの学び 支援事業	法人会計	合計	2020年度 補正予算	差異
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取寄付金	141,065	20,000	161,065	148,239	12,826
受取寄付金	5,747	0	5,747	5,730	17
受取寄付金振替額	135,318	20,000	155,318	142,509	12,809
雑収益	2	0	2	937	▲ 935
受取利息	2	0	2	2	0
雑収益	0	0	0	935	▲ 935
経常収益計	141,067	20,000	161,067	149,176	11,891
(2) 経常費用					
事業費	141,067	0	141,067	129,176	11,891
原稿料	994	0	994	2,380	▲ 1,386
監修費	70	0	70	480	▲ 410
法定福利費	3,950	0	3,950	3,950	0
給料手当	22,950	0	22,950	22,950	0
旅費交通費	2,876	0	2,876	410	2,466
通信運搬費	2,359	0	2,359	2,990	▲ 631
消耗什器備品費	2,000	0	2,000	0	2,000
消耗品費	80	0	80	400	▲ 320
印刷製本費	8,567	0	8,567	9,010	▲ 443
賃借料	1,000	0	1,000	7,520	▲ 6,520
諸謝金	1,040	0	1,040	290	750
支払負担金	6,550	0	6,550	4,530	2,020
支払助成金	71,000	0	71,000	56,860	14,140
委託費	9,790	0	9,790	11,910	▲ 2,120
ソフトウェア償却費	0	0	0	406	▲ 406
普及宣伝費	3,040	0	3,040	2,030	1,010
渉外費	470	0	470	30	440
制作費	1,657	0	1,657	1,250	407
報酬	1,850	0	1,850	1,590	260
会議費	804	0	804	140	664
新聞図書費	20	0	20	50	▲ 30
管理費	0	19,961	19,961	20,660	▲ 699
報酬	0	800	800	730	70
給料手当	0	5,870	5,870	5,870	0
会議費	0	100	100	0	100
旅費交通費	0	80	80	0	80
通信運搬費	0	270	270	270	0
消耗品費	0	200	200	200	0
新聞図書費	0	120	120	120	0
印刷製本費	0	490	490	490	0
光熱水料費	0	0	0	170	▲ 170
賃借料	0	1,560	1,560	1,520	40
保険料	0	5	5	10	▲ 5
諸謝金	0	0	0	120	▲ 120
租税公課	0	5	5	10	▲ 5
支払負担金	0	170	170	170	0
雑費	0	150	150	130	20
法定福利費	0	1,000	1,000	1,000	0
普及宣伝費	0	450	450	460	▲ 10
渉外費	0	20	20	0	20
リース料	0	211	211	60	151
支払手数料	0	360	360	340	20
委託費	0	5,600	5,600	5,990	▲ 390
制作費	0	2,500	2,500	3,000	▲ 500
経常費用計	141,067	19,961	161,028	149,836	11,192
当期経常増減額	0	39	39	▲ 660	699
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	39	39	▲ 660	699
当期一般正味財産増減額	0	39	39	▲ 660	699
一般正味財産期首残高	6,661	44,361	51,022	51,682	▲ 660
一般正味財産期末残高	6,661	44,400	51,061	51,022	39
II 指定正味財産増減の部					
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
受取寄付金	130,000	20,000	150,000	150,000	0
一般正味財産への振替額	▲ 135,318	▲ 20,000	▲ 155,318	▲ 142,509	▲ 12,809
一般正味財産への振替額	▲ 135,318	▲ 20,000	▲ 155,318	▲ 142,509	▲ 12,809
当期指定正味財産増減額	▲ 5,318	0	▲ 5,318	7,491	▲ 12,809
指定正味財産期首残高	336,292	0	336,292	328,801	7,491
指定正味財産期末残高	330,974	0	330,974	336,292	▲ 5,318
III 正味財産期末残高	337,635	44,400	382,035	387,314	▲ 5,279

Ⅶ. 資金調達及び設備投資の見込みについて

(事業年度 2021年4月1日から2022年3月31日)

1) 資金調達の見込みについて

当期中に資金調達の予定はなし。

2) 設備投資の見込みについて

当期中に重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はなし。